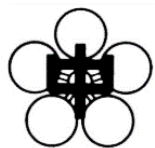


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



# 輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校  
学校だより  
令和2年度 第15号  
令和2年 11月 26日  
校長 水谷 智子

## コロナに負けず、豊かな学びを

再び、新型コロナウイルスの感染が拡大してきました。大変厳しい状況ではありますが、本校では、常時換気扇を回す、休み時間のたびに窓を開けて換気を行う、手洗いの励行など、感染防止に一層の緊張感を持ちながら、教育活動を進めております。ご家庭においても、生活リズムを整え、栄養・休養をきちんととって、免疫力の向上に努めていただきたく存じます。

さて、コロナ禍でいろいろな制約がある中、本校では、生徒たちに「身に付けさせたい力」をつけさせるべく、できる方法を探りながら「豊かな学びの実現」に向けた取組みを進めております。2学期は、教科時数を確保することを優先して、「総合的な学習の時間」の週1時間分を教科の学習に振り替えてきましたが、3学期からは通常に戻すと共にまとめ取りを行い、さまざまな人から学ぶ体験的な学習を充実させていく予定です。各学年、以下のように計画し、準備を進めています。感染防止のため、保護者や地域の方々への公開は十分にはできませんが、学習の様子は、学年だよりやホームページで、随時、お伝えしていきます。感染防止対策の下での学習活動の充実に、ご理解ご協力をお願いいたします。

| 9年(中3生)   | 8年(中2生)・7年(中1生)  |
|---|--|
| <p>◎<b>伝統文化学習</b></p> <p>1 <b>茶の湯体験</b>(12月17日・18日)<br/>クラスを半分に分け、和室にて茶道部師範の鈴木先生から茶道についてお話を伺い、その後、調理室にてお菓子とお抹茶をいただきます。今年度は、茶道部がミニ先生になってサポートします。学校支援地域本部の応援もいただきます。</p> <p>2 <b>落語鑑賞会</b>(3月9日)<br/>落語家の三遊亭わん丈さんにご来校いただき、日本の伝統文化である落語を楽しみます。</p> <p>◎<b>防災学習</b></p> <p>1 <b>防災講話</b>(12月5日・3月13日)<br/>JVOADの神元さんから、防災についての講話を伺います。災害が起きた時にどんな行動をとればよいか、避難所に避難した場合はどうするかなど、地域の一員としての基礎知識を学びます。</p> <p>2 <b>防災キャンプ</b>(3月13日~14日)<br/>備蓄倉庫の見学やマンホールトイレの組立、起震車体験、炊き出し訓練、宿泊訓練など、PTAや地域の皆様のご協力を得て、災害や避難所生活についての体験学習を行います。修学旅行に代わる思い出づくりも、ねらいの一つです。</p> | <p>◎<b>キャリア学習</b>(8年:1月16日・7年:2月13日)<br/>各学年で、キャリアデザイン講座を行います。両日共、4名の外部講師をお招き(オンライン含む)し、職業についての講話や質疑応答を行い、働くことや将来の生き方について考える機会にします。学校支援地域本部のご支援による学習です。</p> <p>◎<b>平和学習</b>(8・7年合同:3月1日)<br/>広島から被爆体験伝承者の方をお招きして、原爆のお話などを伺い、平和について考える機会にします。今年度は「平和の旅」が中止になりましたので、校内における平和学習を充実させます。</p> <p>◎<b>地域学習</b>(8年:3月10日・7年:3月2日)<br/>8年は都内巡り。東京駅と各県のアンテナショップがチェックポイントになります。社会科(地理)の学習とも関連付け、班別行動を行います。<br/>7年は区内(一部近隣区含む)巡り。中学校入学後初めての校外行事で、地域を学ぶ班別行動です。</p> <p>◎<b>留学生交流</b>(7年:3月)<br/>東大大学院の留学生と、英語や日本語での交流を行います。今回はオンラインでの実施になります。学校支援地域本部のご支援による学習です。</p> |

## ◎学校保健委員会

11月13日(金)の午後、学校保健委員会を開催しました。校医、薬剤師、PTA代表の方にお集まりいただき、本校の生徒の状況や、給食の様子等をお伝えしました。また、内科校医の天木先生からは新型コロナウイルスについてご講話をいただきました。

新型コロナウイルスに関しては、①家庭内感染が増えている ②インフルエンザとの違いは発症前の感染力が大きいこと(発症後は5日ほどで感染力が低下する。陰性にならなくても感染力は弱い) ③マスク(特に不織布のもの)が有効 ④コロナ不安で他の病気の受診を控える方がリスクは大きい(外来診療は安全) ⑤子供の心身の健康発達のためには、過度に自粛させず活動させた方がよい ということでした。

他の校医さんたちからは、「花粉症等のアレルギー疾患を持っている子は12月頃から受診して予防をしておく方がよい(受験期にひどくならないため)」「虫歯のある生徒が少なく、口腔環境が良い。虫歯は自然治癒しないので必ず受診し治療しておくこと」「アルコール手指消毒での手荒れが増えている。保湿ケアもしておくことと良い。アルコールでの手指消毒のワンプッシュは、下まで押し切って一回分。時間をとって十分にすりこまないと効果は薄い」などのお話もありました。

校医の先生方のお話が充実していて、とても内容の濃い時間でした。コロナ関連については様々な情報が飛び交っていますが、天木先生には、小児科医の立場から、エビデンスをもとに、大変参考になるお話をいただきました。今後も、専門家の先生方からご指導ご助言をいただきながら、生徒たちの健康や安全を守っていきたいと思います。

### 本校の校医・薬剤師

|     |         |
|-----|---------|
| 内科  | 天木 聡先生  |
| 眼科  | 冲永 公江先生 |
| 耳鼻科 | 長尾 啓子先生 |
| 歯科  | 石井 明先生  |
| 薬剤師 | 榎本 希先生  |



## ◎第三回 CS 委員会

11月16日(月)に第三回 CS 委員会を開催しました。コロナ禍における学校教育活動、小中一貫教育、来年度の教育課程編成方針等について、CS委員の皆様と熟議しました。

コロナ禍における教育活動については、10月1日と28日の白梅フェス DAY1・DAY2の様子をご覧いただいた委員から、「生徒が楽しそうに活動していた。良い取り組みだった」との感想をいただきました。また、防災キャンプについては、「避難所になった場合、その運営に関しては中学生への期待が大きい。マンホールトイレの組立についても体験学習に入れたほうが良い」「宿泊についての寒さ対策はどうするのか?」「PTAも全面的に協力する」「キャンプファイヤーについては、金沢小のおやじの会や仲宿青健でも経験がある」「生徒たちにとっては進路を頑張る希望になる。是非、願いを叶えてあげたい」等のご意見をいただきました。ご理解やご支援の声をいただき、大変心強く感じました。

小中一貫教育については、あいさつ運動やゲストティーチャーの取組などが充実していることの報告がありました。また、学年呼称については、「地域にとっては7・8・9年生にはまだ違和感がある。性急に変える必要はない」とのご意見があり、来年度は今年度と同様、併記することになりました。乗り入れ授業等を通じた教員の交流や、あいさつ運動や中学校紹介等の児童生徒の交流活動など、小中一貫教育に向けた取組を充実させていく中で、徐々に機が熟していくものと考えています。

来年度の教育課程編成方針(案)については、「読み解く力の育成」を指導の重点にすることに関して、「先日の金沢小でのエリア研修会の様子を見たが「読み解く力」について今ひとつよくわからない。学校から説明がほしい」とのご意見がありました。「読み解く力」については12月3日に開催される「板橋のiカリキュラム」(読み解く力)中間報告会の後、改めて保護者・地域の皆様にお伝えする予定です。

困難な状況の中でも、「子どもたちのために」という地域の方々の熱い思いを改めて感じさせていただき、深く感謝しております。今後ともよろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルスの感染者が大幅に増えています。楽しい学校生活は、心身の健康から。再度確認！手洗い・うがい・消毒・マスク・検温。みんなで頑張るもん！

